

ヒナさん(24期)のアメリカ留学レポート①-1

こんにちは。私はアメリカ、ミシガン州に留学していました。私が滞在したのはカントンという地域で人口約10万人の自然と都会が融合しているような町でした。家の裏側には川と森があり、たまに庭に鹿が侵入して来ることもありました。自然がいっぱいの地域ですが、近くにはレストランやショッピングモールもたくさんありました。ミシガンはフレンドリーな人が多く英語もあまり訛りがないように感じられました。気候は、夏は 30℃を超え、冬は氷点下続きという寒暖差の激しい地域です。私がいた年は、11月に-20℃と異例の寒さで、スノーデーで学校が休みになるという沖縄では経験できないことも体験することができました。今日は留学中に感じた文化の違いについて紹介します。

① 食生活

朝食、昼食は自分で用意しなければいけません。朝はシリアルやベーグル、学校でのランチにはフルーツやお菓子を家から持って行きました。夜は冷凍食品が多かったり、週 1 でピザを食べることにカルチャーショックを感じました。私は甘いものやファストフードが好きなのでこの食生活を苦に思うことはなくすべておいしく食べられました。また、レストランでは食べ残しをパックにして持って帰ることができることも驚きました。日本では食中毒の可能性のためできませんが、アメリカでは持ち帰ることはごく普通のことです。

② 人との接し方

アメリカの文化で感激したことの一つに、アメリカ人は人をよく褒めるということがあげられます。身につけているものや授業中の仲間の発言など、自分がいいと思ったことは素直にいいと相手に伝えられることが素敵だと思いました。また、褒められた側は謙遜するのではなく、ありがとうとしっかり受け止められることが自己肯定感アップにつながっているのだと感じました。

③ チップ文化

基本的に、スーパーでの買い物やファストフード店以外、店員のサービスを受けるところではチップを払わなければなりません。割合は 10～20%です。店員の対応に満足したら高いチップを払います。美容院に行ったときは、チップだけで 3000 円でした。アメリカで店員が丁寧な対応してくれるのはチップのおかげだと感じ、改めて日本のおもてなし精神はすごいと思いました。

④ 単位の違い

日本がメートルを使うのに対してアメリカではインチ、フィート、マイルが使われており、重さはオンスやポンドを使います。特に困ったのは温度が華氏なので、暑いのか寒いのか気温感覚がつかめませんでした。毎日頭の中で単位変換をするのはかなり大変でした。

⑤ 学校で驚いたこと

現地の学校で驚いたのは、多様性に富んでいることです。私のホストスクールは生徒数 6000 人超えの大規模な学校でした。学校では数え切れないほどの非英語圏の人々と関わってきました。そこで気づいたことは母国語が英語ではない人が英語になれ、理解する力を身につけることの大切さです。現在もそうですが、これからのビジネスはアメリカに限らずアジアはもちろん、ヨーロッパやアフリカとの関わりも大きくなります。将来国際的に活躍するためにも重要な能力を学べたと思います。他にもアメリカの高校の特徴として、ホームルームがなく、各個人がカウンセラーと話し合い、自分で時間割を組み立てるといった日本とは違ったシステムがあげられます。授業選択の幅がとても広く、高校で大学の単位が修得できたり、医学や理学、保育、調理、音楽、演劇といった専門的な、自分が好きな分野を高校でも追究できる制度はすごいと思います。

⑥ 室内は土足禁止

アメリカの文化として室内も土足という固定概念がありましたが、家の中では靴を脱ぐと決めている家庭も多いことに驚きました。

ヒナさん(24期)のアメリカ留学レポート①ー2

留学中の一番の思い出

留学中の一番の思い出は、学校の授業です。合唱のクラスでは定期的にコンサートがあり、学校のオーケストラと合同で、総勢300人で大規模なステージを経験しました。ドラマ&スピーチでは、自作のスキットをしたり、スピーチをたくさんしました。留学生だからといって特別扱いはされないの、周りの生徒と同じ提出締め切りに間に合わせるために徹夜続きだったり、スピーチの時は簡単な単語や文法しか使えないため内容点が低くなる分、全暗記してプラス点をもらいリカバリーしたりと、きつい思いはしましたが、その分自分の力になったと実感しました。また、毎回の発表は200人収容ぐらいのシアターが会場だったので、度胸もかなりつきました。フォレンジックサイエンスという法科学の授業では、死体の体温や筋肉の硬直具合、目の開き具合などから亡くなった時間を判断したり、各部位の骨から性別や年齢、人種を判断したり、犯行現場に残された指紋を解読したりと、とても興味深くて楽しかったです。アメリカ史で第二次世界大戦の原爆について学ぶときは、生徒みんなで日本の視点にも立ち、日本とアメリカ双方の資料を用いながらアメリカのどこが悪かったかなどを考えました。日本でこのトピックを学ぶ際は、日本の立場の意見をメインに扱うことが多いので、アメリカの授業は感動しました。これまで知らなかった、原爆を投下する経緯や極秘で進められていた核開発の話など新たな学びを得ることができました。アメリカでの授業は、留学生活の中でかなりつらい思い出ですが、同時に一番自分の成長を実感できた良い思い出でもありました。

①

Regular Time Schedule (PDF)

Class Time Bell Times

- 1st Period: 7:10 - 8:04
- 2nd Period: 8:14 - 9:07
- 3rd Period: 9:17 - 10:18
- 4th Period:
 - A: 11:08 - 12:02 Lunch Time 10:28 - 11:08
 - B: 10:28 - 10:55 Lunch Time 10:55 - 11:35
 - 11:35 - 12:02
 - C: 10:28 - 11:22 Lunch Time 11:22 - 12:02
- 5th Period: 12:12 - 1:05
- 6th Period: 1:15 - 2:08

②



- ① **アメリカの高校の日課表:**日本のように5分、10分という風に切れの良い数字で終わらないところが面白いです。
- ② **合唱クラスの定期コンサート:**この規模でコンサートが行われます。